夕刊
十一月十七日　發行
定價　金拾錢　月金六拾錢　金五拾錢
廣告料　（特等）一段金大拾錢　（一等）一段金拾錢　（二等）一段金五拾錢
（日曜祭日を除く日刊）
東京振替一〇五六五八番
發行所　平城新聞社
發行人兼印刷人　佐藤
印刷所　東京市麻布区霞町十六番地

天氣豫報

今晩　花より團子
明日　南西の風晴れたり曇り

新京のお巡さんと無燈火

會田利彌

東京の昭和通りよりもっと〳〵廣い大通りこれは東洋を誇る大同大街です、僕も、自轉車屋の前まで來なければこの道を毎日歩いてゐる丁度、滿洲國通信社の裏にあたる小通りで街燈もなくたゞ暗がりの三字路がある、こゝに自轉車や馬車がよく通る、何時もの通り歩いてゐると、いきなりブスーッと暗がりで何かバンクのやうなものがぶつかつて來た。

オーイ降りろ！大手をあげてお巡さんが男の前に突立つた、男は頻りと辯解するやうだつたが、お巡さんは体を曲げて自轉車に手をつけてゐるやうだと思ふとブスーと最前のやうな音がした、男はお巡さんに歸れと罵倒を浴せられて、さつきと同樣に自轉車を押して行つた、パパー無燈火の罰金の代りにバルブを抜かれて譯だなあ！とうなづけた成る程これなら幾等乘りたくも乘れない、お巡さんがゐない處へ行つてから、ちよい〳〵と失敬しやうと思つて洋を誇る大同大街です、僕も、自轉車屋の前まで來なければこの道を毎日歩いてゐる丁度、滿洲國通信社の裏にあたる小通りで街燈もなくたゞ暗がりの三字路がある、こゝに自轉車や馬車がよく通る、何時もの通り歩いてゐると、いきなりブスーッと暗がりで何かバンクのやうなものがぶつかつて來た。

オーイ降りろ！大手をあげてお巡さんが男の前に突立つた、男は頻りと辯解するやうだつたが、お巡さんは体を曲げて自轉車に手をつけてゐるやうだと思ふとブスーと最前のやうな音がした、男はお巡さんに歸れと罵倒を浴せられて、さつきと同樣に自轉車を押して行つた、パパー無燈火の罰金の代りにバルブを抜かれて譯だなあ！とうなづけた成る程これなら幾等乘りたくも乘れない、お巡さんがゐない處へ行つてから、ちよい〳〵と失敬しやうと思つて

× 馬車と水

昼休みによく寶山デパートへ食事に出かける、五十間道路の大同大街は一直線に走つてゐる　その坦々たる道路を自動車が風を切つて走るがと思ふと明治時代の馬車が悠々と走つてゐるが馬車のお客さん許りいゝ迷惑です、自動車が立てたほこりを頭からかぶせられて了ふじやないか、その道路の傍らに四斗樽位の透明の水桶が滿々とふちから流れそうに一杯くんであつた、道路の撒水用の水かと思つて

「イイエ、私も好きですが子供が出來てから三味線も手にしないのです。」

「お愚みに聞かせませうか」

お久は稽古三味線の袋を外して達摩に渡しながら、

「小唄でも聞くのが嫌めて、もの憂さ晴らしでさあ、丁度子供も寝ついたから、一本つけませう」

良人の無二の友なので達摩の三郎兵衛に有合す酒を出した。

此奴は昔屋町の市村羽左衛門の小屋へ入込み樂屋勤をしたり辯が好いのでメリヤスの一つも謳うてゐる。

なお面も發達し心も浮いた

「親方、あたしに其小唄教へなさいね」

「あゝ教へ〳〵、さらうとも……。時に私ばかり飲んでゐるのも……。お久さん一つ……。」

「有難う、あたし久し振りで心持よく飲むよ、さあ御返盃。」

「お久さん、さすがは白井の御新造だ、大分行けるねサアもう一つ」

× ×

「白井さんちや、旦那が八官町の晋女へ通ひ詰め、御新造の許へは、役者みたいな人が入浸りぢやないか」

「今に見ろ騒動が起る。」

煩さい人の口は、お久の耳に入るので或る日の晩

「さゞさん、江戸にやゐられないよ、もう宿縁の耳に入ると思ふから、今の中何處ぞへ見拔きしようぢやないか」

「うゝ、俺も考へてゐたんだが、可愛い平坊といふ子があるぢやねわか」

「子は憎いことはないが、お前さんにゃ替へられないよ、それにあたしはもう岩田帶、お前さんの胤に極つてゐるんだから腹の子の方が平坊よりあ可愛いいよ」

「さうか、だが何處へ行くにも金がねわ。」

「家に少しの貯へはあるよ、あたしや家附きの娘だもの家の金は私の物さ。」

歪んだ戀に迷うたお久は可愛い盛りの五才になる平吉を捨て、存金二十五兩と當座の衣類や、頭髪の物など持出し三郎兵衛が故郷である大阪指して出奔

長火鉢の猫板に片肘お久がくの字に坐つたつてやつぼさ。

父の存在中はお久は遊藝の稽古もした。

お家人の娘としては粋な貌、家附きの娘ではあり相貌、家附きの娘ではあり相當權利もあるから女貿ひにお久が平坊よりあ可愛いいよ」

「さうか、だが何處へ行くにも金がねわ。」

「家に少しの貯へはあるよ、あたしや家附きの娘だもの家の金は私の物さ。」

歪んだ戀に迷うたお久は可愛い盛りの五才になる平吉を捨て、存金二十五兩と當座の衣類や、頭髪の物など持出し三郎兵衛が故郷である大阪指して出奔

訪西牧石川中學校長

珠雲　小野務平
多鏡杏壇流德長
今猶鋭志育才良
可無忙裏間天地
風月峠游翰墨場

11月18日　長崎に來る（明治八）△上野公園南洲銅像除幕式（明治三一）△南支陸軍最高指揮官更迭・古莊中將に代り安藤中將就任（昭和一三）

講談

振袖横町（ふりそでよこちやう）

（81）

須藤鐘一
荻原萬象畫

同志（四）

「毎晩の事ですからね、淋しいつて……。いつも此方も面當てに……。と思つた處が芝居でも見るか何か子供と一緒に旨い物を食べにゆくくらひなんですがね。」

「お察し申しまさ、時に、お久さん、此頃流行る隆達節の小唄知つてゐなさるか」

「イイエ、私も好きですが子供が出來てから三味線も手にしないのです。」

「お愚みに聞かせませうか」

お久は稽古三味線の袋を外して達摩に渡しながら、

「小唄でも聞くのが嫌めて、もの憂さ晴らしでさあ、丁度子供も寝ついたから、一本つけませう」

良人の無二の友なので達摩の三郎兵衛に有合す酒を出した。

此奴は昔屋町の市村羽左衛門の小屋へ入込み樂屋勤をしたり辯が好いのでメリヤスの一つも謳うてゐる。

なお面も發達し心も浮いた

「親方、あたしに其小唄教へなさいね」

「あゝ教へ〳〵、さらうとも……。時に私ばかり飲んでゐる。お久さん一つ……。」

「有難う、あたし久し振りで心持よく飲むよ、さあ御返盃。」

「お久さん、さすがは白井の御新造だ、大分行けるねサアもう一つ」

× ×

「白井さんちや、旦那が八官町の晋女へ通ひ詰め、御新造の許へは、役者みたいな人が入浸りぢやないか」

「今に見ろ騒動が起る。」

煩さい人の口は、お久の耳に入るので或る日の晩

「さゞさん、江戸にやゐられないよ、もう宿縁の耳に入ると思ふから、今の中何處ぞへ見拔きしようぢやないか」

「うゝ、俺も考へてゐたん

自然と子供

岸川幸三郎

（上）

○この朝霧流れたる厨べのかゞ巣に蜘蛛は動かざりけり

○蜘蛛の巣の一すぢ流れ光りをり葉枯れを見せし朝顔の蔓に

○ふかぶかと霧流れたる朝あけの　そゞ　し秋深みかも

○風起るほゝけ芒の一叢にあきつはみだれ飛び上るかも

○吹く風にほゝけ芒の陽に耀りて反射いみじくわれの眼を射す

○

うつくしくあれど冷にし梅幸の雪女にも似たる君かな　吉井勇

桃源境
小瀧は招く
一日の清遊には……
どうぞ小瀧へ！
お迎へお送りに輕快な馬車の用意があります
鐵道指定旅館
割烹　小瀧
電話小名濱一〇三

生花教授
池ノ坊　生花を細切丁寧に御教授いたします、お遊びがてら御出で下さい。
平市四丁目和泉屋旅館
須藤まつの

一般貨物運搬
迅速低廉に御取扱ひ致します、
福好工業合資會社
代表者　强口唯七郎
自動車部
電話二八二番
砂利、砂の御用命に對しては特に廉價にて御供給致します、

新車のお知らせ
斷然!!!　乘心地良い!!!
最新型フォード
入車いたしました。
是非！御試乘の程を！
市内四丁目
スヾキタクシー
電二一七番

展覽會並に即賣會
毛皮界の王座銀狐
期日來る十一月十五日より四日間
毎日午前八時煙火合圖
場所　平市驛前劇場あと
出品頭數　ピカ一櫛　六十頭
外參考品　多數出品
入場料　無料
展覽會開催記念のため先着順をもつて多産血統優秀經産狐四十頭有利條件附にて貸付御相談に應じます。お早く申込を
樺太廳中央試驗場血統種狐分讓
北日本養狐場
平市出張即賣會事務所
平市驛前とらや旅館内〔電話六四八番〕

耳鼻咽喉科專門
レントゲン科
高柳醫院
醫學博士　高柳博明
平驛前　電三三六

日本姓名學會東北支部長
鵜沼孝昌
平市紺屋町　三六
鑑定項目
命運の代一てみの前名……るかわもてん何
体力　肉体　疾病（健康、不健康、相貌）
活動　職業　天運（適業、不適業）（天運、成功、不成功）
血縁　家族運　男女縁（父母の縁、夫婦の縁、子供の縁）有無（氣質、相性、相剋、婚期方位に關する一切）
（病根病勢、病名）に關する一切
銀行、會社名、商號、家號、會名、雅號、藝名、養子、養女、姓名、生兒名

外科一般
內臟外科
肛門病科
皮膚科
泌尿生殖器科（婦人科性病科）
專門
（入院隨意）
看護婦及見習看護婦募集
平市字鎌田町
白土醫院
電二七九

只今入荷
金鵄印
天然バター
金鵄ミルクの北海道札幌工場製の天然バターです。
天然バター品薄の折柄是非御用命下さい
1/2ポンド　1/4ポンド詰
西村屋藥局
電話3番

病室・手術室完備
產婦人科
醫學博士　五十嵐雄二
（物理療法科併置）
（入院隨時）
平市新川町（電話三六九番）

酒ハ白菊
酒の王
君德
クトング
平市田町
特約店　白菊廣瀬支店
電話五四番
秋田・伊藤本家吟釀

お醬油は……ヤマフル
味噌醬油
たひら正宗
鰹節　食品料
塩屋
山崎合名會社
福島縣平市
電話（營業部一〇番）（本店二七番）
明治生命磐城代理店　山崎與三郎

御婚禮御着附
パーマネント　ウエーブ
洋和結髮　オゾン美顔術
御婚禮のかつらを御利用下さい
御染髮洗毛
美爪術電話六七八營業所　五二五自宅
平市驛前
水野化粧院

耳咽喉科專門
平市南町一六番地
大和田醫院
（入院隨意　病室完備）
電一七〇番

吸入用酸素
純度99%
度量衡
モノサシ　マス　ハカリ
計量器
体温器　寒暖計
秤ハ取緒　蚕糸・絲　繭・シマス、
關内藥局
電話四〇番

改革案は不合理！と
石城醫師會が猛反對
近く具体的態度決定

今夏調査委員會の幹事案として發表された醫療制度改革案に對する反對決議の縣醫師會の會は去る十四日郡山市に於て開催、之が實行運動の創委員長として石城醫師會の清水廣敬氏が擧げられた旨既報の如く同氏は來る二十一、二の兩日東京に於て開かるる大日本醫師會の總會に代表の一人として出席することになつたので右會議の結果により石城醫師會の總會を開き諸般の手續を決めることになつてゐるが右に就き氏は問題の性質を次の如く語る。

世間では將來醫師の手から藥劑を藥劑士に移す所謂醫藥分業に對する反對の様に穿き違へて居る向勢を見受けるが、方でもあるが、今回の問題は入金しては當面の供給を受けて居ると云る如き造り繰り先年來の懸案たる醫療制度改革案が國家が醫師の村落駐在、處方箋作成、廣告制限等を強制してあるなど國民總動員法の微用令の如き非常立法なれば知らず平時に之を適用する改革案としては全く首肯出來ぬからの反對であり、これに對しては藥劑師方面とも相當反對熱が擡頭して居る有様で殊に一部に傳へらるるが如き醫藥分業への反對ではない云々

因に過般郡山の大會には平市から三十餘名、四倉から十餘名、四倉合計五十名が出席、方部的に觀て一番反對氣運が強く見受けられる。

三縣議に期待する
初陣の武者振り
あす通常縣會に初登場

昨年度二年目、千百六十萬圓の大豫算を審議して颯爽と晴れの登場を待つ本縣通常縣會は愈々明十八日招集されるが過般の臨時招集は兎に角改選後最初の通常縣會として市郡下から草野、小野、觀内、蓮沼の古剛四名に木村、赤津坂本の三新鋭を加へた處に從來とは異つた或種の新味が看て取られる。市郡下四萬三千大衆の代表たる前記七縣議は今十七日から相前後して一先づ歸つた上十九日の日曜から議案審議に入り二十三日の旗日がもげて弦者運によつて文字通り龍虎相搏の大接戦を展開するものと豫想される

戰時下武を競ふ
平署武道場開き
十九、廿の二日に亘り

三井榮一氏の寄附による工費一萬三千圓の平署武道場落成式は明後十九日午前九時から第二十四回縣下警察官武道大會を開催するので同署では練士鈴木忠正部長その他係員がその準備に忙殺されてゐるが、今回は普通の大會と異り、時局下の演武場竣功を記念する意味で參加者も際立つて多く各自信に富む一粒選りの猛者達大會並に市、郡下小學校劍道大會を、翌二十日は午前八時から第二十四回縣下警察官武道大會を開催するので同署では練士鈴木忠正部長その他係員がその準備に忙殺されてゐるが、今回は普通の大會と異り、時局下の演武場竣功を記念する意味で參加者も際立つて多く各自信に富む一粒選りの猛者達によつて文字通り龍虎相搏の大接戦を展開するものと豫想される

商工業調査
事務打合會

市、郡下の商、工業調査事務打合會は既報の如く二十日午前九時から市町村主任等が出席平市團体事務所で開き生産力の擴充振興、中小工業問題の對策等工業全般の資料を整備し非常時局に於ける政策施設の基本資料蒐集等に就て事務打合せをなすと

林警部補町長に推さる　小名濱町警部補派出所警部補として勤務、町民の信望をあつめた人である

諸法規の趣旨徹底
管内各營業者を集め
平署當局内容説明

平署では最近實施された諸法規の趣旨徹底をはかるため管内市町村米穀販賣業者に對しては二十二日午前九時から、市内木炭販賣業者には同日午後一時から同署其他價格等統制關係者には同日午後六時から市公會堂で夫々説明する、尚ほ管内も諸法規を一括左記日割で指示會を開く（會場何れも小學校）

△二十三日内郷、湯本、磐崎

△二十四日（小名濱、玉川、鹿島）

△二十五日（名、豐間、高久

△二十六日神谷、夏井、飯野

△二十七日　永戸　澤渡

好間

△二十八日上小川、赤井

△統監青年學校聯合會長西山小名濱校長△中央會行了つて遂沼本社長の中支事情講演がある

△二十五日（名、豐間、高久

△二十六日神谷、夏井、飯野

△二十七日　永戸　澤渡

好間

△二十八日上小川、赤井

描く軍國風景
郡南
千餘名を動員して
青年學校演習迫る

郡中南部青年學校が參加校は北軍小名濱町青年學校外九校、南軍植田青年學校外八校、兵隊數千餘名の聯合演習が愈々來る二十三日の新嘗祭當日同日午前七時北軍は湯本町小學校に、南軍は植田小學校に集結直に行動に移り泉村附近で壮烈な攻防戰を展開、演習終了後泉小學校で分列式を擧行する

統監並に指揮官左の如し

△統監青年學校聯合會長△中央會行了つて遂沼本社長の中支事情講演がある

△入遠野村葬延期　遠野村出身陸軍歩兵伍長折笠實君の村葬は明後十九日執行の筈であつたが都合で延期となつた

△戰歿勇士慰靈祭　十八日鶴隊部隊で行はれる戰歿勇士合同慰靈祭に附される地方出身勇士左の如し、

△佐藤（半）部隊入遠野村伍長折笠實△服部部隊神谷村上等兵木村忠三△伊藤部隊四倉町伍長大和田茂、江名町同兵目農△岡部隊三阪村伍長吉田大二郎△坂本部隊磐崎村上等兵北郷啓忠

。。。